骨粗鬆症・骨折リエゾンサービスを受けられる患者さんへ

【情報公開文書】

All Akita Association プロジェクト活動による秋田県の骨粗鬆症・骨折リエゾンサービス普及効果とその後の骨粗鬆症治療と骨折発生率の調査に関する研究

秋田大学医学部附属病院　整形外科では、秋田大学医学部附属病院並びに秋田県内の他施設と共同で、骨粗鬆症・脆弱性骨折を減らすための骨粗鬆症・骨折リエゾンサービスの普及プロジェクト（All Akita Association プロジェクト：以下 AAA）を取り組んでいます。対象となった患者さんの診療情報を用いた研究を実施しております。

１．研究の目的 及び 意義

この研究の目的は、骨粗鬆症・骨折リエゾンサービスの開始により、秋田県の高齢者における骨粗鬆症治療率を向上させ、脆弱性骨折患者を減らすことができるのかを調査することです。有効性が確認されれば秋田県内の高齢者のADL を大きく改善することが期待できます。

２．研究の方法

１)研究対象者

以下の期間に研究組織の施設で大腿骨近位部骨折・椎体骨折で入院して治療を受けられた方。

AAA 前群：2021 年 10 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

AAA 後群：2023 年 10 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

※骨粗鬆症性の脆弱性骨折が対象です。

※高エネルギー外傷や腫瘍による病的骨折の方は対象に含まれません。

２)研究実施期間

研究実施期間：研究実施許可日 ～ 2030 年 10 月 31 日まで。

情報の利用及び提供開始予定日：2026 年 6 月 9 日

３)研究に用いる情報の種類

カルテから得られた情報を加工した ID、年齢、性別、骨折部位、手術治療の有無、手術方法、骨密度や骨代謝マーカーなどの骨粗鬆症の評価に用いる検査結果、骨粗鬆症治療薬の種類、生命予後、Follow-up 期間など。得られた情報をもとに、AAA 前・後の骨粗鬆症治療率、継続率、二次骨折発生率などを比較検討していきます。

４)外部への試料・情報の提供

試料・情報は個人が特定できないよう氏名等を削除し、電子的配信により共同研究機関へ提供します。対照表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5)研究成果の取扱い

研究の結果を公表する際は、直ちに研究対象者を特定できる情報を含まないようにします。

６)本研究の資金源（利益相反）

日本骨粗鬆症学会研究助成費を財源とし、共同研究機関には症例登録数に応じた研究協力費を支給しています。研究協力費はデータ入力等の事務作業に対する補助であり、診療内容や治療選択には影響しません。

秋田大学医学部附属病院　整形外科

〔第 1 版〕2026年 5 月2日作成

７)研究組織（各機関の研究責任者）

秋田大学医学部附属病院 整形外科 土江博幸秋
田労災病院 整形外科 木戸忠人
北秋田市民病院　整形外科　相澤俊郎
能代厚生医療センター 整形外科 佐藤毅湖東
厚生病院 整形外科 鵜木栄樹
男鹿みなと市民病院　整形外科　今野則和秋
田厚生医療センター 整形外科 小林孝市立秋
田総合病院 整形外科 藤井昌
中通総合病院　整形外科　千馬誠悦
秋田赤十字病院　整形外科　田澤浩
市立角館総合病院　整形外科　蝦名寿仁
大曲厚生医療センター　整形外科　畠山雄二
由利組合総合病院　整形外科　菊池一馬
本荘第一病院　整形外科　松浦裕史
市立横手病院　整形外科　江畑公仁男
平鹿総合病院　整形外科　小林志
市立大森病院　整形外科　大場雅
史雄勝中央病院整形外科　浦山雅和
羽後町立羽後病院　整形外科　阿部秀一

7)問い合わせ・連絡先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

男鹿みなと市民病院整形外科

研究担当者:

今野則和　　柴田暢介
電話番号:0185-23-2221

研究代表者:

秋田大学大学院医学研究科整形外科学講座
講師　土江　博幸

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称:国

立大学法人秋田大学大学院医学系研究科
研究科長　　宮腰　尚久

秋田大学医学部附属病院　整形外科
〔第１版〕2026年 5 月2日作成